

授業科目名	【G】 民法(債権総論) I	区分 選択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	民法の基礎を学ぶ(その5)			担当者	勝田 信篤			
授業概要	【概要】	債権総論の前半について、具体的な例をあげて解説する。講義は板書および口頭での解説による。基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えること。なお、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。						
	【到達目標】	学習した内容を現実の事案にあてはめて、妥当な解決方法を導けるようになる。これは、評価基準に記載した「応用力」にあたる。 【例】学習した内容が、消費者トラブルの解決に繋がった。 学習した内容が、就職後の業務遂行の助けになった。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	民法概論、民法(総則) I・II、民法(契約) I・IIを履修していることが望ましい。							
教科書	平野裕之『コア・テキスト民法 4 債権総論 第2版』新世社、2,640 円 六法(どの出版社のものでもよい。ただし、令和6年版。授業の際には必ず持参すること)							
参考書	鎌野邦樹『今日から役立つ民法』ナツメ社、1,540円							
評価方法	授業内に行なう理解度確認テストを特に重視する(90%以上)が、出席、授業への参加度等(10%以下)も加えて、総合的に評価する。 なお、出席の悪い者はマイナス評価とする。							
フィードバック 方法	授業内で理解度確認テストを行い、最終週に解答・解説を行う。							
評価基準	S: 授業内容を理解しており、秀でた応用力がある、A: 授業内容を理解しており、応用力もある、B: 授業内容を理解している、 C: 最低限の基礎力を備えている、D: 基礎力が不足している、E: 基礎力が著しく不足している、 F: 出席やレポート提出の状況が著しく悪い、試験を受けていない等(評価不能)。							

授業 科目名	【G】 民法(債権総論) I	区 分		開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		選 択					
授業回数	授業内容						
1	債権総論序説						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
2	債権と債務						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
3	特定物債権、種類債権、金銭債権、選択債権						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
4	債務不履行①類型						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
5	債務不履行②性質						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
6	債務不履行③効果、履行の強制						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
7	債権者代位権①基礎						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
8	債権者代位権②応用						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
9	詐害行為取消権						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
10	債権の消滅、弁済						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
11	弁済、供託						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
12	弁済による代位						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
13	相殺						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
14	相殺、更改、免除、混同						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
15	まとめ						
	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:		その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
その他	【自宅での学習例】ノートを見ながら、その日の授業内容を再現してみる。疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。						